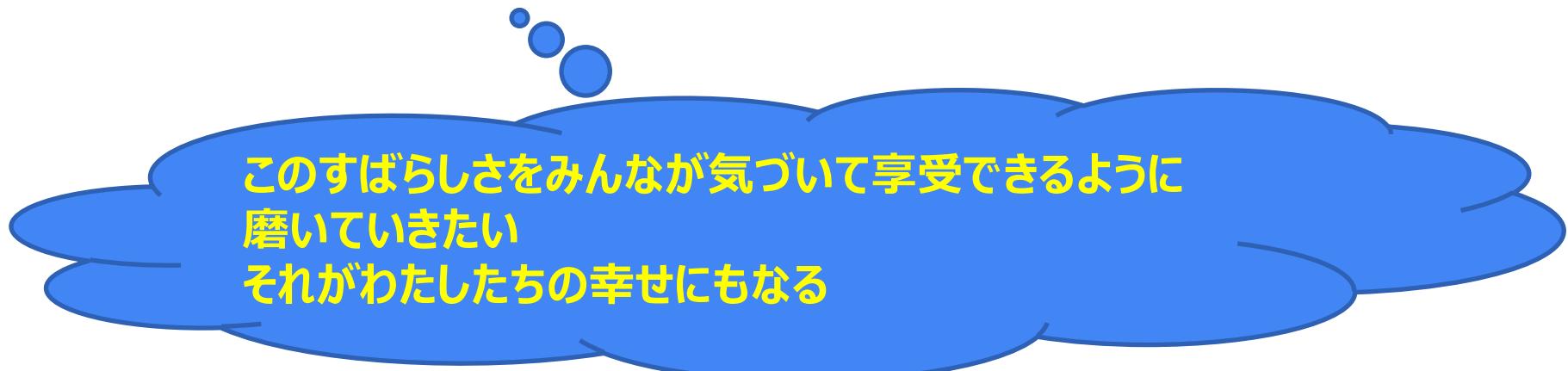


事業コンセプト

はじめに～わたしたちの清田区への想い

- 子ども時代～青年期 札幌市（豊平区等）で育つ
- 成年期～子育て期 関東（つくば・東京・横浜）で暮らす
- 2020年4月：清田区へ移住
- ✓ 清田区の豊かな自然とアクセスの良さに感動（平岡公園、白旗山）
- ✓ 区民の方には意外と気づかれていない清田区の暮らしのすばらしさ



清田区と「風の谷」

“風の谷”といえば、某著名漫画／アニメ映画作品が想起される

- ✓ その“風の谷”では人が自然と対峙して暮らしている
- ✓ 時に抑制し、時にたたかい、時に愛でながら静かに楽しく暮らしている
- ✓ テクノロジーを活用している（空飛ぶ道具や水の浄化装置）



このような自然と人間とのあり様は清田区での「自然と調和する暮らし」のモデルとして考えられる。

また、安宅和人氏（慶應義塾大学 環境情報学部教授、ヤフー株式会社 CSO）は「テクノロジーの力を使い倒し、自然と共に人間らしく豊かな暮らしを実現するための行動プロジェクト」として“「風の谷」プロジェクト”を推進しているが、わたしたちのやりたいこととかなり近いアプローチをされている。



そこで、私たちのこの構想を「風の谷」と名付けることとした。

事業コンセプト～「自然と調和して暮らす快適生活のまち」の実現

「個建て+マイカー+ロードサイド店」による郊外生活



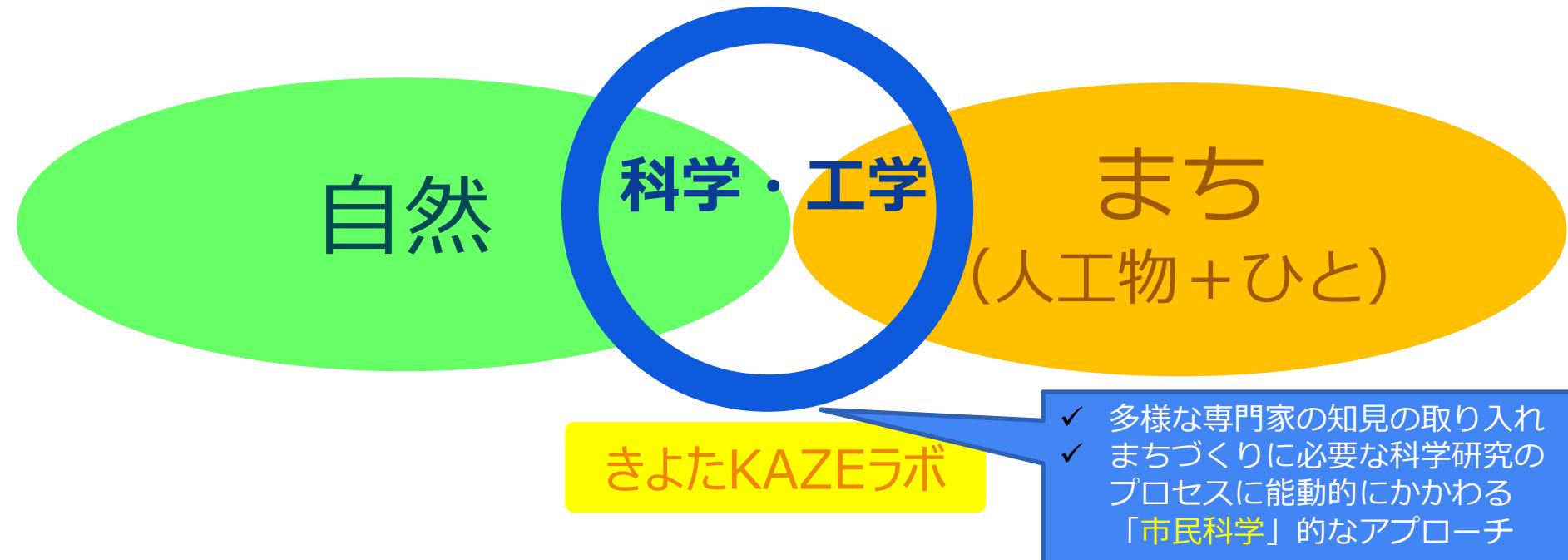
清田区の豊かな自然と調和してすべての人が気持ちよく暮らせるまちづくり

その実現に向けて、手始めに下記を実施する

- 1.自然と調和して暮らすための空間／ルールづくり
- 2.いつの間にか健康になるまちづくり
- 3.快適生活に必要なエネルギーの地産地消の推進（オフ・グリッド化）
- 4.地域協働による多様なエコ・モビリティの確保



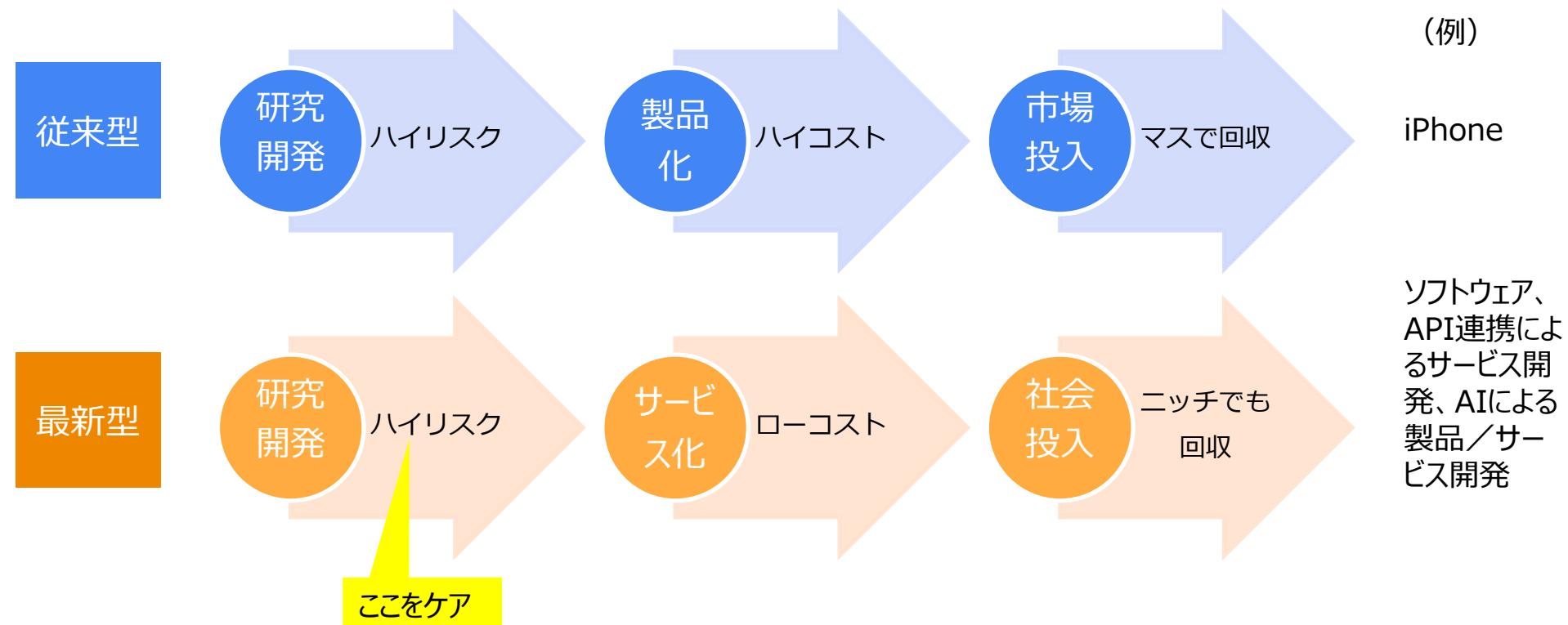
実現戦略～「自然と調和して暮らす快適生活のまち」を 科学・工学も駆使して実現する



テクノロジーだけでなく制度や意識のイノベーションも志向

「科学・工学」には哲学、人文科学、社会科学、社会工学をはじめとした人類のすべての知的財産を含む

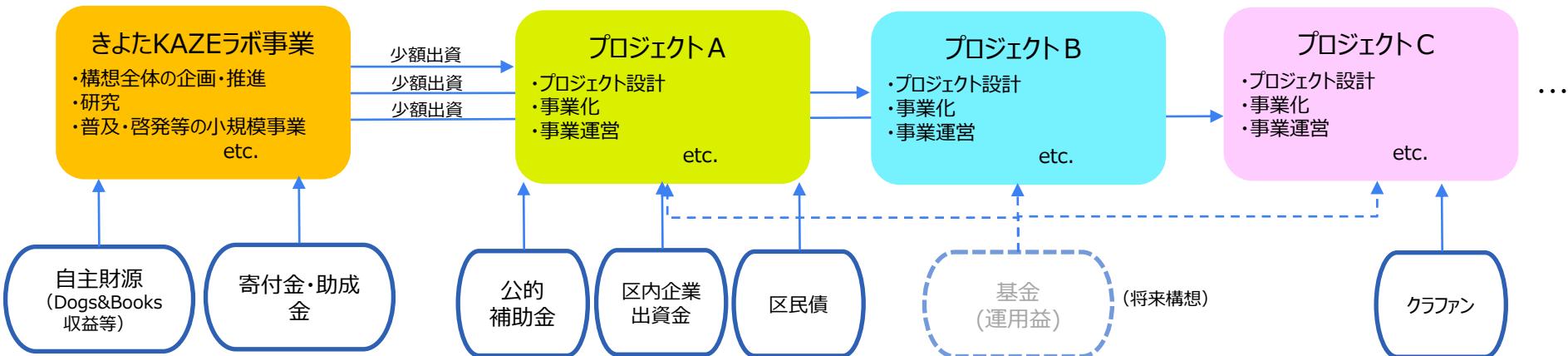
製品／開発におけるコアコンピタンスの変容とわたしたちの役割 →研究開発～製品化・市場／社会投入の構造変化



当ラボは**研究開発部分をケア**し、新社会サービスの創生を促す

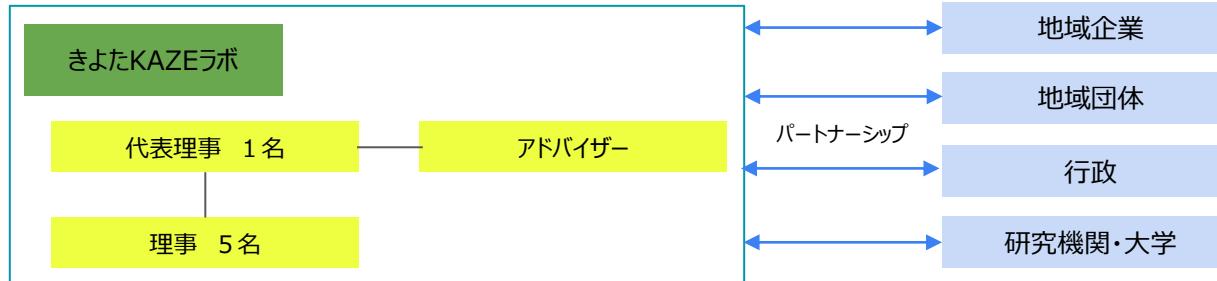
事業推進の基本的な考え方

- きよたKAZEラボは小さな組織です。そのため、構想全体の企画・推進、研究及び普及・啓発等の小規模事業に特化して活動します。
- 一定規模以上の事業は「プロジェクト」として組成し、きよたKAZEラボは初期段階の企画、参画プレイヤーの探索・組織化、資金調達の初期計画を行います。事業の実施は原則としてそれにより組成された組織が行い、きよたKAZEラボは少額（最大10万円）を出資／供出する形で参画します。
- 事業実施の資金は事業内容・規模に適したものを見極めて選定します。



事業実施体制

- ✓ きよたKAZEラボが事業主体として事業を推進する。
- ✓ きよたKAZEラボには専門的知見からのアドバイスや人的ネットワーク紹介等を行うアドバイザーを置き、事業の精度・スピードを高める。
- ✓ 事業の推進にあたっては、地域企業、地域団体、行政、研究機関・大学等とパートナーシップを結び社会性、公益性、専門性の担保を図る。



■アドバイザー（敬称略）

氏名	役職等	専門等
一瀬 ヒロ	元北野地区町内会連合会女性部長、元北野地区福祉のまち推進センター センター長	清田区まちづくり、市民福祉活動
巖城 隆	野生動物研究家（前北海道大学大学院獣医学研究科 客員研究員）	獣医学、寄生虫
生地 陽	(一社)東京アジア応援計画代表理事	社会事業運営
岡田 久典	早稲田大学上級研究員／NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク副理事長	環境政策
小林 葵和	北海道ニュービジネス協議会 副会長	北海道の新ビジネス創生
中島 秀之	札幌市立大学 学長／株式会社未来シェア会長	AI、IT社会実装
夏目 真利子	チャーリードッグスクール代表	動物行動学、愛玩動物の社会化
山本 強	北海道大学産学・地域協働推進機構特任教授	画像工学、IT社会実装

一般社団法人清田区風の谷協働研究ラボ
(きよたKAZEラボ)
<https://www.kiyotakazelabo.net/>

004-0873
札幌市清田区平岡 3条 6 丁目 4-11
090-3108-9953
info@kiyotakazelabo.net

